

SARSコロナウイルス抗原キット

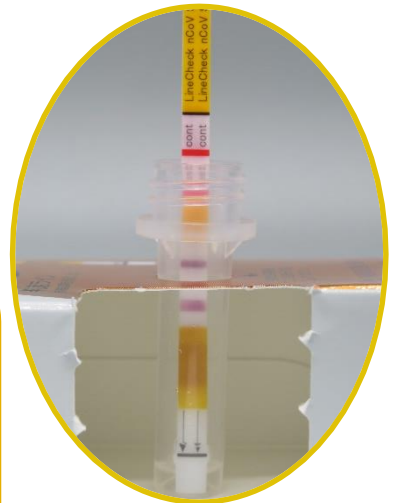
KBMラインチェックnCoV (スティックタイプ)

薬局販売用 1テスト

セルフチェックのための個包装となっています



外箱は抗原抽出液
立てとしてご利用
できます。



POINT 容器に触れる
ことなく判定
できます。

結果察窓を開くこ
とで、判定例と見
比べながら判定で
きます。



重要な基本的注意

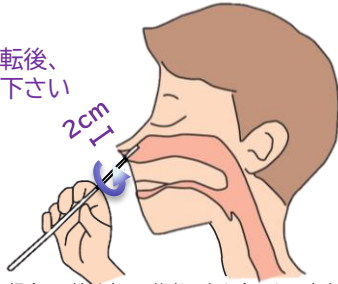
1. 本品の判定が陰性であっても、SARS-CoV-2感染を否定するものではありません。
2. 検査に用いる検体については、厚生労働省より発表されている「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)病原体検査の指針」を参照してください。
3. 診断は厚生労働省より発表されている医療機関・検査機関向けの最新情報を参照し、本製品による検査結果のみで行わず、臨床症状も含めて総合的に判断してください。
4. 鼻腔ぬぐい液を検体とした場合、鼻咽頭ぬぐい液に比べ検出感度が低い傾向が認められているため、検体の採取に際して留意してください。
5. 検体採取及び取扱いについては、必要なバイオハザード対策を講じてください。



検査手順

ご使用の際は、添付文書をよくお読みください。

スワブを5回転後、
5秒静置して下さい

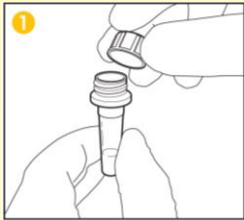


<鼻腔ぬぐい液の自己採取の方法>

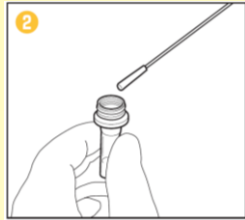
1. 鼻孔(鼻の穴の入口)から2cm程度、綿棒を挿入します
2. 綿棒を鼻の内壁に沿わせて5回程度回転させます
3. 5秒程度静置し、そっと引き抜きます
4. 綿棒が十分に湿っていることを確認します

※同居人等がいる場合は、被験者は、他者と向き合わない方向を向くか、他者とガラス等により隔てられた位置に移動して実施します。

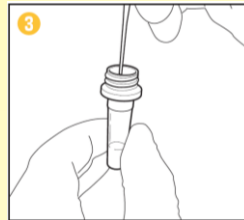
※他者による検体採取は感染等のリスクを伴う可能性があり、また、鼻咽頭(鼻の奥)ぬぐい液の自己採取は危険かつ困難であるため、鼻腔ぬぐい液の自己採取によって行います。



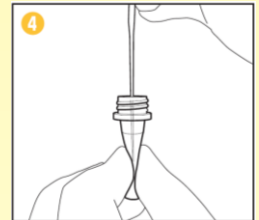
1 抗原抽出液容器のキャップをはずします。



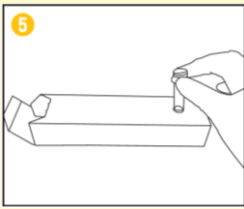
2 検体を採取した綿棒を、ただちに抗原抽出液に浸します。



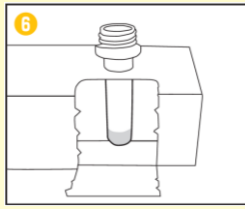
3 綿棒の先端をつまみながら、抗原抽出液容器内で綿棒を10回程度回転させます。



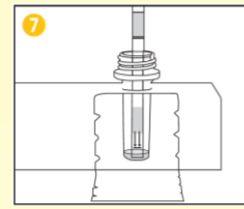
4 綿棒から液を絞り出しながら、抗原抽出液から綿棒を取り出し廃棄袋に破棄します。



5 箱の抽出液容器用穴に、抗原抽出液を立てます。差し込めなくなるまで、差し込んでください。



6 箱側面のミシン目部分を開きます。ここから検査結果を確認します。



7 抗原抽出液にテストスティックを垂直に浸します。



10分静置後に判定します

判定方法



実際の陽性例

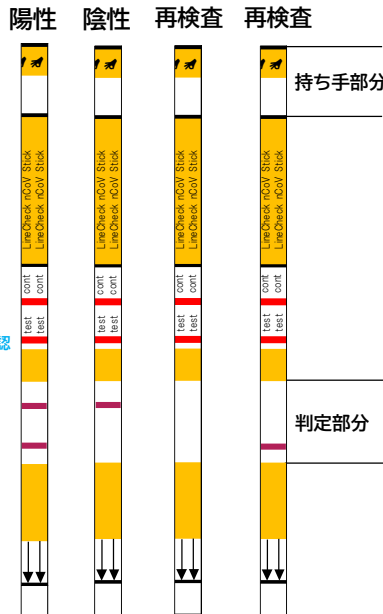


正しく検査できたか確認します

確認ライン

判定ライン

検査結果を確認します



検査後の対応

判定結果

対応

陽性

速やかに医療機関を受診してください

陰性

偽陰性(過って陰性と判定されること)の可能性も考慮し、症状がある場合には医療機関を受診してください。症状がない場合であっても、引き続き、外出時のマスク着用、手指消毒等の基本的な感染対策をつづけてください。※新型コロナ感染者との接触がある場合は、健康観察と共に日を置いた再検査を推奨します。

製品情報

【キット構成】

品名	KBMラインチェックnCoV(スティックタイプ)		
製品コード	80220		
包装単位	1テスト		
構成試薬	テストスティック	1本	
	抗原抽出液	1本	
付属品	検体採取用滅菌綿棒	1本	
	廃棄袋	1枚	

【お問い合わせ先】

製造販売元



KOHJIN BIO

コージンバイオ株式会社

〒350-0214 埼玉県坂戸市千代田5丁目1番地3

TEL:(049)284-3781(代) FAX:(049)284-4784

URL : <https://kohjin-bio.jp>

代理店

使用説明書

検査に関する注意点

はじめに

- ◆ 体調が悪いことを自覚した場合は、出勤や通学を行わず、医療機関を受診してください。
- ◆ 体調が気になる場合等にセルフチェックとして本品を使用し、陽性の場合には、速やかに医療機関を受診してください。陰性の場合でも、偽陰性（過って陰性と判定されること）の可能性も考慮し、症状がある場合には医療機関を受診してください。症状がない場合であっても、引き続き、外出時のマスク着用、手指消毒等の基本的な感染対策を続けてください。
※無症状者への使用は推奨されていません。
※症状がない時に使用した場合、結果が正しく出ない可能性があります。

ご使用にあたって

- ◆ 添付文書を必ずお読みください。
- ◆ あらかじめ検査に関する注意点、使い方等を勉強してから検査を実施してください。
(参考)検査に関する注意点、使い方等
厚生労働省がホームページで公開する「医療従事者の不在時における新型コロナウイルス抗原定性検査のガイドライン」等のWEB教材を参考にするとともに、本品の添付文書における使用方法や本資料裏面の検査手順、当社が提供する動画資料等を必ず確認・理解した上で、検査を実施してください。

医療従事者の不在時における新型コロナウイルス抗原定性検査のガイドライン

<https://www.mhlw.go.jp/content/000798073.pdf>

受診方法の相談等

- ◆ 結果等を踏まえて受診する場合は、まずはかかりつけ医等の地域で身近な医療機関に電話等でご相談ください。
※院内感染を防止するため、緊急の場合の除いて、連絡なく医療機関に直接受診することは控えてください。
- ◆ かかりつけ医がないなど相談先に迷った場合は「受診・相談センター」(地域により名称が異なることがあります)にご相談ください。
下記URLにおいて、各都道府県が公表している、相談・医療に関する情報や受診・相談センターの連絡先をまとめています。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/covid19-ikokusyasessyokusya.html

本品の保管等

区分	取扱い方法
保管方法	常温(冷蔵保存の場合は、使用前に室温に戻してからご使用ください。)
廃棄方法	ご家庭等で使用した本品(綿棒、チューブ等を含む)を廃棄するときは、付属の廃棄袋に入れて、しっかりチャックを閉める、ごみが袋の外面に触れた場合や袋が破れている場合は二重にごみ袋に入れる等、散乱しないように気を付けてください。 参考:新型コロナウイルスなどの感染症対策としてのご家庭でのマスク等の捨て方(リーフレット) http://www.env.go.jp/recycle/waste/sp_contr/infection/leaflet-katei.pdf